

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

マーケットサマリー

Treasury Department

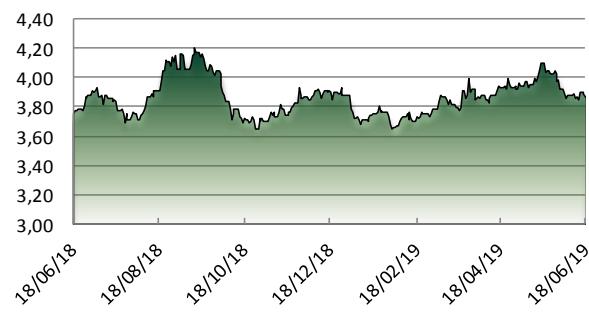
昨日のドルレアルスポット相場は、欧州中央銀行(ECB)のドラギ総裁が追加金融緩和の可能性について言及したことと新興国通貨全般が上昇したことを受け、レアルも一時3.84台後半までレアル高が進行。引けにかけては本日COPOMの政策決定を控え様子見の展開となり、やや反落。3.86台前半で取引を終えている。ボベスパ指数は前日比1.8%高と急伸し、再び10万ポイント乗せが視野に入る展開。同総裁はポルトガルのシントラで昨日開催されたECB年次フォーラム冒頭演説で、「見通しが改善せず、インフレ圧力が強まらない場合は追加の刺激策が必要になるであろう」と発言。「ECBはフォワードガイダンスの修正が可能であると共に、利下げは政策手段の一部であり、資産購入も選択肢」とも語った。また、「地政学的要因と保護主義、新興市場の脆弱性によるリスクは消えておらず、特に製造業の重石となっている」と分析。「物価安定へのリスクに対して取り得る手段を政策委員会が今後数週間に検討する」との見解を示している。一方、ブラジル中銀も昨日からCOPOMを開催しており、本日18時に政策金利を公表予定。Selicは現状の6.50%で据え置かれる見通しであるが、週初のFOCUSで示された通り、足元の景況感悪化を受けて中銀が追加利下げに踏み切るとの見通しが強まっている(年内のCOPOMは7月、9月、10月、12月の4回)。また、2022年のインフレ目標を他の中南米諸国と同水準に近似させるため、3.50%に引き下げる方向で検討中とも報じられている(チリ、コロンビア、メキシコの目標値は3%。今年のブラジル目標値は4.25%で、2021年は3.75%)。

マーケットデータ

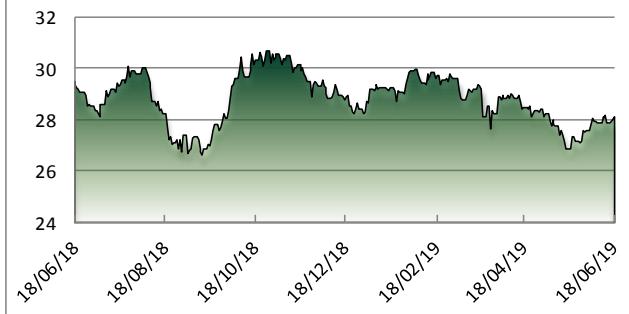
Indicator		Unit	6月17日	6月18日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,8891	3,8606	-0,73%	-5,82%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	27,92	28,09	0,61%	4,57%	30,08	26,68
	対ユーロ	BRL	4,3618	4,3214	-0,93%	-5,48%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	108,54	108,45	-0,08%	-1,48%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	121,77	121,40	-0,30%	-1,14%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		97,623	99,404	1,82%	10,46%	100,439	87,536
CDS Brazil 5yrs	bps		165,00	160,14	-2,95%	-13,30%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		7,95	7,94	-0,13%	-12,71%	9,34	7,89
DI Future Jan20 (金利先物)	%		6,08	6,08	-0,08%	-6,03%	6,69	5,99
3 Months US Dollar Libor	%		2,41850	2,38663	-1,32%	-5,36%	2,8039	2,4020
CRB Index (国際商品指数)	Index		174,42	176,10	0,96%	-2,70%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



〈オンプスマントラクション: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。